

(上書) 上賀茂

御社家中 參 御宿所

三宅小三郎 續 長

【氣多神社文書】 羽昨郡

二三四八

尚々御祭禮祝着之至候。心緒期後音之時候。以上。御折帟畏入存候。仍御神役之儀得其意候。番匠屋用所候而此方有事ニ候。遲延堅可申付候。尙藏人可申入候。恐々謹言。

六月廿七日

平 加

堯 知 在判

大宮司殿

參 御返報

【栗棘庵文書】 山城

二三四九

芳翰、特扇子五本被懸御意候。御懇切申盡存候。仍御庵領之義、於拙者聊疎意有間敷候。就中雖左道候、黑藻拾把進入候。表祝詞迄候。旁期後音時候。恐々謹言。

極月廿二日

栗 棘 庵

御返報

(平) 堯 知 在判

(上書) 栗 棘 庵

御返報

平 加賀守

堯 知

【栗棘庵文書】

二三五〇

芳翰快然之至候。仍扇子五本被懸御意候。目出度畏悅至候。隨而御庵領之儀、於拙者聊無疎略候。就中雖左道候、堅海苔一箱進之候。併表祝詞迄候。旁期後音之時候。恐々謹言。

二月二日

(平) 喬 知 在判

栗 棘 庵

御返報

平 加賀守

(上書) 栗 棘 庵

喬 知

御返報

二三五二

(平加賀守喬知は前出の堯知と同人なり。)

【栗棘庵文書】

二三五二

志津良之儀、就溫井彦五郎討死忠節、代官職事被申付候。御年貢等如先規可致寺納由堅被申付候。此等之趣自兩人方意得可申入旨候。猶委細者、代僧可有御申候条令省略候。恐々謹言。

卯月十三日

(隱岐) 統 朝 在判
(三宅) 俊 長 在判

栗 棘 庵

侍者御中

三宅伊賀守

隱岐豊前守

(上書) 栗 棘 庵

侍者御中

俊 長

【氣多神社文書】 羽昨郡

二三五三

尚々御書中示預義堅申付候。重而不謂義於申候は可承候。堅可申付候。已上。御折紙披見本望至候。仍而一宮竹津舟役之儀、鳥倉猿丞後家相押之由示給候。沙汰限成儀候。拙者者一圓不存義候。即唯今折紙を遣候間、重而不謂儀を申ニおゐて者可被仰越候。堅可申付候。諸事如先々たるべき旨申付候。尙清七郎殿へ申渡候。恐々謹言。

三月六日

三 備
長 盛 在判

櫻井監物承殿

參 御返報

【栗棘庵文書】 山城

二三五三

新年之嘉慶幸甚々々、尙更不可有際限候。抑去秋者預御札、殊扇子五本被懸御意候。畏悅之至候。隨而御庵領之儀、如例年被申付候。可被御心安候。就中京都彌無